

2005年台風14号通過時の宮崎県西部での斜面崩壊に伴うHi-net振動波形の解析

Analysis of Ground-vibration Records of Landslides in Western Miyazaki Prefecture at Typhoon No.14 2005, by Hi-net

浅原 裕 [1]; 大角 恒雄 [2]

Hiroshi Asahara[1]; Tsuneo Ohsumi[2]

[1] (株)先端力学シミュレーション研究所; [2] 日本工営・中央研究所

[1] ASTOM R&D; [2] Nippon Koei Co., Ltd. R&D

<http://www.astom.co.jp/>

2005年9月6日に九州地方を襲った台風14号は多くの斜面災害を引き起こした。9月6日21:30以降には宮崎県西郷村塚原ダム下流で大規模な斜面崩壊が発生し、耳川の河道閉塞を発生させるなどした。この斜面崩壊による振動が近隣の(独)防災科学技術研究所Hi-net(高感度地震観測網)により検知されている。記録された波形の解析から振動特性の検討を行った。また、観測波形から崩壊位置の推定を行い、早期の崩壊位置検知にHi-netデータを利用できないか検討を行った。